



祝 創立70周年 充実した実りの多い2学期に

校長 鋸持 利行

一学期の終業式で「明日から始まる夏休みは、自分で自分の生活を決めることのできる貴重な期間です」とお話ししました。生徒の皆さんの夏休みの生活は、どうだったでしょうか。一人一人違いはあるかと思いますが、ふだん学校のあるときには中々できない、貴重な体験ができ、充実した夏休みが送れたことと思います。これから始まる二学期は、授業日数が83日間と、3つの学期のうち一番長い学期になります。また、今月行われる生徒会役員選挙をはじめ、10月26日の合唱コンクール。そして、11月2日の『創立70周年記念式典』と、行事も多く計画されています。これからの時期は、秋に向かい、何をするにも一番良い季節です。ぜひ、一人一人が目標をしっかりと定めて、充実した実り多い2学期にしてほしいと思います。

高松中のことをもっと知ろう PART③

☆☆『大石良雄外十六人忠烈の跡』と『血洗いの池』☆☆

元禄2年12月14日、主君の仇をうった赤穂浪士たち。隊長の大石内蔵助をはじめ、17名の義士が高松中学校の敷地に当時あった熊本藩細川家の下屋敷に預けられ、翌年切腹しました。その切腹した場所と、介錯した刀を洗ったと言われる池が校内敷地に残っています。



第2回運動会と血洗いの池



昭和49年当時の高松中



★.+昭和には校庭に、

リス・フクロウ・巻貝? +.★

昭和43年のPTA広報誌を読むと、当時の校庭はもっと山のように、リスがたくさんいたようです。今は、東京都の天然記念物に指定されている樹齢100余年のシイの木の大いなる洞にはフクロウが住んでいたと書かれています。また、昭和49年の広報誌には、当時の校庭の上の崖には陸生化した巻貝が生息していたことも載っていました。昔は海が高輪のすぐ下まであったのですね。



人の温かさにふれました。2学年夏季学園！！

2年生は、8月2日（金）～5日（月）の4日間で新潟県十日町市に夏季学園に行っていました。今年のスローガン「感じて、食べて、体験して、全てに感謝、いただきます」のもと、都会ではなかなか経験できない様々な体験を通じて生徒たちはのびのびと過ごすことができました。前半2日間は、工芸体験（布ぞうり、まゆ細工、竹とんぼ、わらぞうり、草木染め）や食体験（あんぼ、米粉ピザ、のっぺ汁、押しずし、天ぷら）では、地元の方々に教えていただき地元の伝統文化を味わいました。ラフティングではユーモアあふれるインストラクターのもと協力しながら楽しみました。後半2日間は農家で民泊体験をしました。民泊先の方には、生徒が楽しめるように入念に準備していただき本当にありがたかったです。農作業をしたり、一緒に料理をしたり、竹や葉を使った昔遊びを教してもらったり、満点の星空を眺めたり…。顔合わせからお別れの瞬間まで、たった一泊でしたが忘れられない思い出になったことでしょう。農家の方からはまた来てほしいという感想をお寄せいただきました。心温かい新潟の方々とおふれあうなかで、いろいろなことに感謝の気持ちをもつことができましたと思います。この経験を生かし、今後の中学校生活が益々、充実したものとなるように期待しています。



がんばった！ 有志合唱、銀賞受賞！！

今年もNHK全国学校音楽コンクールに参加。「有志合唱団」は7月29日に府中の森芸術劇場で行われた予選で見事「銀賞」を獲得しました。1年生を含めた31名の精鋭達が、毎日のように練習に励んだ結果です。早くも来年は金賞を目指すと意気込んでいます。来年も楽しみです。

～学校公開週間 9/17（火）～21（土）においでください～

和やかな雰囲気の中にも節度ある授業、真剣に取り組む生徒の様子をぜひこの機会にご覧いただきたいと思います。見に来ていただけるだけで生徒も教員も励みになります。また、21日（土）には生徒会役員選挙があります。皆様、お誘いあわせの上、お越しください。お待ちしております。